

漁業経済学会 短 信

【2006年度総会報告】

2007年5月26日(土)13時より、岡本勝氏(元中央水研)を総会議長に選任して総会を行った。

1. 2006年度事業報告

(1) 渉外関係

- ・日本農学会：18年度評議員(片岡千賀之)、運営委員(馬場治)

(2) 組織関係

1) 2006年度会員移動

- ・2006. 5. 28の会員現勢
個人会員316名(一般234名 学生82名)
賛助会員4名(農林中央金庫、全国漁業共済組合連合会、全国共済水産業協同組合連合会、東京水産振興会)
- ・2006年度退会者
(一般)河野通博、三春敏夫、池上甲一、荒井修亮、武田尚子、吉原正記、菊池達人、大塚正人、高鮮徹、小高正稔 以上10名

(学生)李永喜、土江秀治、Wantana Chenkitkosol、Devarahanahi Achini、Phattareeya Suanrattanachai 以上5名

- ・2007. 5. 25現在の会員現勢
個人会員301名(一般224名、学生77名)
賛助会員4名(農林中央金庫、全国漁業共済組合連合会、全国共済水産業協同組合連合会、東京水産振興会)

2) 2007年度入会希望者

(一般)川本太郎(極洋水産)、大野宣和(岩手県水産技術センター)、稲本守(東京海洋大学) 以上3名

(学生)森脇孝広(一橋大学院)、清板晃平(東京海洋大学院)、隈本源太郎(東京海洋大学院)、中里慎平(東京海洋大学院)、松井求(早稲田大学院) 以上5名

- ・2007. 5. 26現在の会員現勢
個人会員309名(一般227名、学生82名)
賛助会員4名(農林中央金庫、全国漁業共済組合連合会、全国共済水産業協同組合連合会、東京水産振興会)

(3) 学会誌編集関係

1) 編集委員会体制および委員会開催状況

①編集委員会体制

委員長：小岩信竹

編集総務：小岩信竹、婁小波

編集委員：加瀬和俊、馬場治、多屋勝雄、山下東子、川辺みどり、中西孝、
工藤貴史、濱田武士、三木克弘、山内昌和、牧野光琢、大谷誠

②委員会開催状況（2006年6月～2007年4月）

第1回（6/19）、第2回（7/24）、第3回（9/11）、第4回（10/15）、第5回（11/19）、第6回（12/18）、第7回（1/15）、第8回（3/19）、第9回（4/16）、第10回（5/21）
編集委員会では通常の編集業務のほか以下のことについても議論を行なった。

@編集経費

@小特集企画の検討

2) 学会誌発行状況

巻 号	51(1)	51(2)	51(3)	計
発行年月(予定)	2006年6月	2006年10月	2007年2月	
発行年月(実績)	2007/2	2007/5	2007/6	
論 文	3	5		
書 評	3	1		
大会後記		1		
講演要旨		18		
備考	一般投稿	大会特集号	一般投稿	
総ページ数	82	139		

3) 編集経過

編集作業は投稿状況との関わりで進行します。今後、一層の原稿獲得につとめたいと考えます。

区 分	受理済み	審査継続中	依頼中
論 文	9	6	0
書 評	6		11

4) 小特集企画の検討

編集委員会として通常の記事依頼などに加えて、企画特集号についても検討し、その企画の内容を編集委員会において継続的に協議しています。今後さらに小特集を組む予定です。会員の皆様からの積極的な企画提案をお待ちしております。

ミレニアム・エコシステム・アセスメントが立ち上がっている

5) 漁業経済研究Discussion Paper Series（電子版）の充実

漁業経済学会ディスカッション・ペーパー第2版を立ち上げています。一層の投稿をお願いします。

(4) 短信関係

(5) 学会賞選考委員会報告

学会賞：該当なし

奨励賞：山本尚俊（水産物市場における鮮魚流通構造に関する実証的研究）

<協議事項>

2. 2006年度決算報告および監査報告

工藤会計担当理事より決算報告があった。

報告に引き続き、米田監事より、すべて適正に処理されているとの監査結果報告があった。

2006年度決算報告（案）

1. 一般会計の部

(1) 収入の部

大科目	小科目	予算	決算	決算-予算
会費	(小計) 一般会員 学生会員 賛助会員	2,200,000	1,676,000 1,228,000 48,000 400,000	-524,000
会誌売上	(小計) 事務センター扱 事務局扱い	300,000	319,500 184,500 135,000	19,500
寄付金		0	18,000	18,000
大会収入	(小計) 参加費 懇親会費	500,000	506,000 234,000 272,000	6,000
雑収入	(小計) 利息 その他	600	76 76	-524
当期収入合計		3,000,600	2,519,576	-481,024
前期繰越金		198,440	198,440	
収入合計		3,199,040	2,718,016	-481,024

(2) 支出の部

大科目	小科目	予算	決算	予算-決算
会誌等印刷費	(小計) 学会誌 短信	2,200,000	1,833,390 1,833,390	366,610
通信発送費		150,000	120,490	29,510
事務局費		80,000	26,892	53,108
会議費	(小計) 旅費	200,000	30,000 30,000	170,000
大会経費	(小計) 要旨集印刷費 バイト代 懇親会費 シンボ等食費 その他	450,000	482,647 66,465 56,000 260,000 26,352 73,830	-32,647
負担金		45,000	46,750	-1,750
雑費		10,000	1,650	8,350
当期支出合計		3,135,000	2,541,819	593,181
繰越金		64,040	176,197	-112,157
支出合計		3,199,040	2,718,016	481,024

2. 財産目録（一般会計）

(1) 一般会計の部

種類	預入先	金額
郵便貯金	郵便局	141
普通貯金	東京三菱銀行	4,527
振替貯金	郵便局	147,700
現金		23,829
合計		176,197

(2) 特別会計の部

種類	預入先	金額
定額貯金	郵便局	75,144
現金		825
合計		75,969

3. 2007年度事業計画

(1) 学会誌編集計画

1) 年3号編集体制の維持

本年度発行する予定の巻号および発行時期は下記の通りです。

巻号	予定発行年月	入稿予定日	備考
52(1)	2007年6月	2007年6月	一般原稿
52(2)	2007年10月	2007年10月	大会特集
52(3)	2008年2月	2008年2月	一般原稿

2) 漁業経済研究Discussion Paper Series（電子版）』について

広く周知徹底し、会員の皆様方の積極的なご投稿をお願いします。

3) その他

① 投稿の促進について

本年度も例年通り、大会報告者には積極的な投稿を呼びかけていきます。また、各理事からも投稿を促すようお願いいたします。

② 修正原稿の投稿催促

編集委員会から修正要求をとまなうコメントが付されて返却された論文が再投稿されずにそのままになってしまう例が見受けられます。修正後に掲載することを意図して返却されたものですので、その点をご理解の上、できるだけ早く修正稿を提出されるようお願いいたします。

③編集委員会企画の充実

特定のテーマについて、特集を組むほか、編集委員会としての企画を考えていき、誌面の充実を図りたいと考えています。

④書評書籍の推薦について

学会誌において書評すべく書籍の推薦をお願いします。

(2) 短信関係

(3) 次期大会開催地・日程・シンポジウムテーマ等

例年通り5月末を予定するが会場確保との関係で多少ずれることもあり得る。

会場は、とくに他地域からの開催希望がなければ東京海洋大学とする。

シンポジウムテーマとして、水産財政問題、センサス分析、産地市場縮小、日中間、アジア貿易などが提案された。テーマについては今後会員からの意見徴収を行い、詰めていく。

(4) 事務局体制案

総務(濱田)、会計・会員管理(婁、工藤)、編集総務(小岩、馬場)

4. 2007年度予算案

2007年度予算(案)

1. 一般会計の部

(1) 収入の部

科目	2007年度	2006年度	増減
会費	2,200,000	2,200,000	0
会誌売上	300,000	300,000	0
寄付金	0	0	0
大会収入	500,000	500,000	0
雑収入	600	600	0
小計	3,000,600	3,000,600	0
前期繰越金	176,197	198,440	-22243
合計	3,176,797	3,199,040	-22243

増減：予算額-前年度予算額

(2) 支出の部

科目	2007年度	2006年度	増減
会誌等印刷費	2,200,000	2,200,000	0
通信発送費	150,000	150,000	0
事務局費	80,000	80,000	0
会議費	150,000	200,000	-50,000
大会経費	450,000	450,000	0
負担金	45,000	45,000	0
雑費	10,000	10,000	0
当期支出合計	3,085,000	3,135,000	-50,000
繰越金	91,797	64,040	27,757
合計	3,176,797	3,199,040	-22,243

増減：予算額-前年度予算額

5. 学会賞選考委員会の改選について

(現体制)

代表理事：片岡千賀之

留任委員：加瀬和俊、山尾政博（2008年5月まで）

被改選委員：馬場 治、濱田英嗣、宮澤晴彦、婁 小波（2007年5月まで）

新選考委員として佐野雅昭、廣吉勝治、長谷川健二、山下東子、（次点三輪千年）が選出された。（任期は2009年5月まで）

6. 編集委員会体制案

小岩信竹（委員長兼総務）、馬場 治（総務）、加瀬和俊、川辺みどり、工藤貴史、多屋勝雄、中西 孝、牧野光琢、三木克弘、山内昌和、山下東子、婁 小波

7. 理事の改選について

新理事（任期2007年6月～2009年5月）として以下の方々が選任された。

池田 均、板倉信明、伊藤康宏、上田不二夫、大塚秀雄、小野征一郎、加瀬和俊、加藤辰夫、亀田和彦、川辺みどり、工藤貴史、倉田 亮、黒沼吉弘、小岩信竹、佐久間美明、佐野雅昭、島 秀典、常 清秀、竹ノ内徳人、田坂行男、玉置泰司、多屋勝雄、鳥居享司、中居 裕、中西 孝、長谷川健二、服部 昭、波積真理、馬場 治、濱田英嗣、濱田武士、日高 健、東村玲子、廣吉勝治、古林英一、甫喜本憲、前瀧光弘、松浦 勉、三木克弘、三木奈都子、宮崎隆志、宮澤晴彦、宮田 勉、三輪千年、山下東子、山尾政博、婁 小波、若林良和（以上48名）

理事の間の互選により、新代表理事として三輪千年氏を選出した。

新監事として、榎彰徳、片岡千賀之の両氏が選任された。

8. 名誉会員の推薦

中楯 興、三島康雄、浦城晋一、河野通博の4名が推薦され、承認された。

<シンポジウム・テーマの受付>

総会報告の2007年度計画（3.3）.（3）では、シンポジウム・テーマを会員一般からも広く受け付けることにしました。案のある方は、8月末までに、事務局宛へ、「テーマ」、「趣旨」、「意義」などをFAXまたはE-mailにより送信してください。

<編集後記>

近年、会員の入退会が激しくなってきました。大学院生など学生会員の入退会については、発表前に入会し、卒業後退会するという傾向にありますので、出入りの傾向がもともと強かったのですが、近年は、一般会員もその傾向が強くなっています。入会が伸びるのは、学会HPを立ち上げたことが大きく影響していると思います。一方で、退会理由としては、学会大会での報告、学会誌への投稿を一時的に利用したい、期待していた学会と違う、などさまざまなものがあると考えられます。

入会希望者が増加傾向にある中、増えつつある退会者がどの程度になるのかが、今の学会の状態を表すバロメーターではないかと考えます。感心の異なる会員がうまく交流できれば、退会者の増加傾向を防ぐことができると思われれます。

今年度、メンバーこそ変化してはおりませんが、事務局体制を改めました。今こそ、ふんどしを締め直す好機ではないかと考える次第です。

学会短信

No. 109

2007. 7. 23

漁業経済学会事務局（総務：濱田武士）

〒108-8477 東京都港区港南4-5-7

東京海洋大学内

TEL & FAX 03-5463-0566

e-mail bqx11300@kaiyodai.ac.jp